

防災・安全・防犯特集号

第 9 6 号
平成29年1月15日発行 八幡コミュニティ
責任者 寺島康夫 TEL 33-3230
印刷 八幡コミュニティ
編集 総合管理部

やわたコミュニティ

謹賀新年

輝かしい新年をお迎えのこと、お慶び申し上げます。

八幡コミュニティでは、「自分が住んでいるまちに愛着を抱くことがまちづくりの第一歩である」を理念に掲げている。誰もが、住みやすい・安全・安心なまちで生活したいと願っているにちがいない。昨年十一月の地域懇話会において、「子供からお年寄りまでが、住みよいまちづくり」を目指して白熱した討議が展開された。議論百出の観を呈してはいるが、具現するのは容易ではない。

八幡コミュニティが従来から取り組んできた活動の一端は、住みよいまちづくりに沿った事業なのでこの特集号で紹介する。八幡住民の一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちで良くする」との意欲を持って、コミュニティ活動に積極的に参加することが目標到達への一番の近道であるような気がする。

まちづくり事業体系

総合防災訓練

あいさつ運動

安全なまちづくり運動

<地域懇話会テーマ> 子どもからお年寄りまでが、住みよいまちづくり

防犯パトロール

自主防災訓練

交通安全運動

あんしん見守り隊

平成28年度 八幡コミュニティ総合防災訓練実施概要



日時 平成28年11月27日(日) 午前8時30分～
場所 八幡小学校
参加者 八幡地区住民を始め
市防災関係の担当者など約160人



平成二八年度
防災・安全・防犯活動の実績概況

地域懇話会



平成二六年度に始まり今年度で第三回となる地域懇話会が、宮島市長を迎えて十一月十二日に知多市青少年会館で開催された。今回は「子供からお年寄りまでが、住みよいまちづくり」をテーマに設定し、四グループに分かれたコミュニティからの参加者三三名が熱心な討議を交わした。何をもちて住みよいまちと感ずるのか、主観で左右されるテーマがゆえに対策を一定の方向に収束させるのは容易ではなく、各グループの発表内容も多岐に及んだ。

討議の内容は市の市民協働課で対応をとりまとめ、コミュニティへ報告されることになる。

安全なまちづくり運動



環境・安全部会の事業として、「夏の安全なまちづくり県民運動」の期間中の八月二日に、知多警察署、知多市役所の協力を得て、安心・安全なまちづくりの啓蒙活動が実施された。

交通安全運動



八幡コミュニティの地域管轄部会と環境・安全部会のみなさんが、年末の交通安全県民運動に協力して路上活動を行った。

十二月三日に、堀切交差点で通行車両に安全運転を呼びかける立哨をすると共に寺本駅乗降客には交通安全啓発グッズを配布をした。

あいさつ運動



今年の第二回あいさつ運動が十二月五日に行われた。この運動の歴史は古く、八幡コミュニティ発足直後の昭和六二年度から今日まで続いてきている。

青少年健全育成部会と民生児童委員及び八幡中学校生徒のみなさんが、小中学校の校門で登校してくる生徒に啓発ティッシュを手渡し、あいさつの励行を呼びかけた。

あんしん見守り隊



あんしん見守り隊は、八幡小学校からの要請を受けて平成十八年度からスタートした。登下校する児童を交通事故や犯罪から守ろうと八幡地域の住民（老人会・子ども会・民生児童委員）が自分の都合の良い日程に合わせて通学路で立哨している。

総合防災訓練



震度7の南海トラフ三連動巨大地震が発生し大津波警報が発令されたとの想定で、十一月二七日に八幡コミュニティ総合防災訓練が実施された。

大津波警報発令と同時に各自で一旦近くの一時避難場所へ行き、その後、避難所に指定されている八幡小学校へ集団で移動して、炊き出し食の試食、消火栓からの放水、人工蘇生（AED操作）などの体験をして地震発生時に備えた。

八幡コミュニティに防災部会が新設されたのは平成二三年度とまだ日が浅い。地区の防災体制を強化するには経験と継続性が不可欠である。到達目標を決め長期計画に基づいて活動できる、持続的な推進組織の構築が今後の課題と言える。

防犯パトロール



平成二一年度から各地域で自主的に続いている防犯パトロールによつて、八幡地区での犯罪（コソ泥・空き巣・チカン・自転車ドロなど）抑制に大きく寄与している。

自治会の役員をはじめ老人会・子ども会・民生児童委員他大勢の住民が、八幡のほぼ全域を巡回・監視することで安全・安心が保たれている。

自主防災訓練



大災害が起こった場合、火災をはじめ、道路の寸断、断水、停電など、さまざまな被害が広い範囲で発生し、消防や警察などの公的機関による救護活動はすぐには期待できない。「自主防災組織」は、近所の人々と協力しあい「自分たちのまちは、自分たちで守ろう」という地域の自発的な防災活動の組織である。

災害に強い八幡のまちをつくりあげるため、地区内十三の字・町内で組織されている。

年一回の自主防災訓練では、「消火器の取り扱い」「放水訓練」「三角巾の練習」など災害発生時の基本的対処法の習得に努めている。平成二八年度の訓練への住民参加状況は八幡全体で約三五〇名であつて決して多くはない。参加人数を増やすためには、行政の防災部門との連携を密にして訓練内容の形骸化を防がなければならない。

防災・安全・防犯活動のあゆみ

年 月	活 動 項 目
昭 和 60 年 1 月	八幡小学校区コミュニティ推進協議会(現 八幡コミュニティ)発足
昭 和 62 年 11 月	あいさつ運動
平 成 16 年 11 月	第1回八幡コミュニティ防災訓練
平 成 18 年 5 月	見守り隊
平 成 19 年 8 月	安全なまちづくり運動
平 成 20 年 1 月 平 成 21 年 1 月 平 成 22 年 1 月	} 感謝状(治安の維持に貢献)愛知県知多警察署長
平 成 20 年 10 月	
平 成 21 年 4 月	
平 成 22 年 5 月	感謝状(犯罪の防止と少年の健全育成に貢献)愛知県知事
平 成 23 年 1 月 平 成 24 年 1 月 平 成 25 年 1 月 平 成 27 年 1 月 平 成 28 年 1 月 平 成 29 年 1 月	} 感謝状(安全・安心なまちづくり活動に貢献) 愛知県知多警察署長
平 成 23 年 4 月	
平 成 23 年 8 月	
平 成 23 年 10 月	
平 成 24 年 1 月	
平 成 24 年 7 月	
平 成 24 年 11 月	知多市総合防災訓練
平 成 26 年 4 月	防災・減災部会に部会名変更
〃	防災器材充実(宝くじ助成金)
平 成 27 年 11 月	感謝状(地域安全活動に貢献)愛知県地域安全研究会
平 成 28 年 6 月	感謝状(地域安全活動に貢献)愛知県知多警察署長



交通安全・防犯活動の主体は行政であり、コミュニティは地域を補完する立場にある。これまでの延長を維持すれば、今以上の内容強化は考えなくて良さそうである。

他方、全国的に発生している災害報道の影響で防災・減災に対する住民意識は高まっているが、現実の備えは十分とは思えない。自助・共助が叫ばれているものの、八幡住民の危機に直結するこの地区の防災体制は脆弱ではないだろうか。八幡コミュニティに求められる**防災・減災対策**を考察する。

◆防災体制の確立には、5年後・10年後を見据えた確固たる長期計画の策定が必須。

◆八幡地区の防災体制を継続的に検討し、実践躬行の中核となる人材の確保。

◆防災マップ、災害対応マニュアルなど八幡地区に適応した公助以前の行動規範整備。

◆自主防災訓練の実効性見直しとコミュニティ防災部会との職掌及び連携要領明確化。